

# 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

- 放射線療法分科会
- 地域連携分科会
- 化学療法分科会
- 緩和ケア分科会
- 相談支援分科会
- 院内がん登録分科会



<p>分科会開催日</p>	<p>第1回 令和元年 7月18日（メール会議） 第2回 令和2年 2月26日（メール会議）</p>																
<p>令和元年度 実績</p>	<p>分科会メール会議の開催； 令和元年度は、2回のメール会議を開催して、県内の放射線治療施設間で、情報共有と患者紹介等の協力関係の強化を行ってきました。以下は第2回の開催通知メールと計2回の会議の概要です。</p> <p><u>令和元年度第2回放射線療法分科会メール会議</u></p> <p>別紙（令和元年度 第2回 放射線療法分科会メール会議：開催通知、放射線療法分科会：集計結果）のように、県内の放射線治療の現状について、情報共有をおこなった。この1年間に大きな変化はなかったが、各施設の人員、治療内容等には多少の変動があり、状況に応じて、他施設への紹介、治療依頼等を行うこともあったが、連携、協力関係等は概ね良好であった。代表的な高精度放射線治療である強度変調放射線治療（IMRT）の実施状況についても大きな変化はなく、実施不可能な施設は可能な施設と連携して治療を行っている。さらに、放射線治療設備のない施設（南奈良総合医療センター等）は、実施可能な施設（奈良医大等）と密接に連携して治療を実施している。</p> <p>*****</p> <p>&lt;分科会委員&gt; <span style="float:right">敬称略</span></p> <table border="0" style="width:100%"> <tr> <td>奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科</td> <td>長谷川正俊</td> </tr> <tr> <td>奈良県総合医療センター 放射線科</td> <td>堀川典子</td> </tr> <tr> <td>天理よろづ相談所病院 放射線治療科</td> <td>高山賢二</td> </tr> <tr> <td>近畿大学奈良病院 放射線科</td> <td>岡嶋 馨</td> </tr> <tr> <td>済生会中和病院 放射線科</td> <td>浅川勇雄（非常勤）</td> </tr> <tr> <td>高井病院 放射線科、脳神経外科</td> <td>井上和也、長友康</td> </tr> <tr> <td>高田市立病院 放射線治療科</td> <td>横川正樹</td> </tr> <tr> <td>市立奈良病院 放射線科</td> <td>橋本泰年</td> </tr> </table>	奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科	長谷川正俊	奈良県総合医療センター 放射線科	堀川典子	天理よろづ相談所病院 放射線治療科	高山賢二	近畿大学奈良病院 放射線科	岡嶋 馨	済生会中和病院 放射線科	浅川勇雄（非常勤）	高井病院 放射線科、脳神経外科	井上和也、長友康	高田市立病院 放射線治療科	横川正樹	市立奈良病院 放射線科	橋本泰年
奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科	長谷川正俊																
奈良県総合医療センター 放射線科	堀川典子																
天理よろづ相談所病院 放射線治療科	高山賢二																
近畿大学奈良病院 放射線科	岡嶋 馨																
済生会中和病院 放射線科	浅川勇雄（非常勤）																
高井病院 放射線科、脳神経外科	井上和也、長友康																
高田市立病院 放射線治療科	横川正樹																
市立奈良病院 放射線科	橋本泰年																
<p>来年度の予定</p>	<p>がん診療連携協議会 分科会（メール会議）開催： 年に数回メール会議を開催させていただき、県内の放射線治療施設間で情報共有と協力関係の強化をさらにすすめていきます。</p>																

奈良県がん診療連携協議会 放射線療法分科会 委員の皆様

ご存知の先生も多いと思いますが、新型コロナウイルスの影響で、急遽、日本放射線腫瘍学会高精度放射線外部照射部会、日本医学放射線学会総会等、多くの学会、研究会の中止、Web開催等が決まりました。日進月歩の放射線治療分野への影響も気になるところです。

診療報酬関連では、平成30年4月の改定でIMRT実施の要件が緩和されず、令和2年4月の改定が注目されてきましたが、結局ほとんど緩和されない見通しで(医学物理士等の条件付きでも医師一人で実施することは認められず)、ほぼ従来通り、常勤相当の医師2名が必要条件となりそうです。

さて一昨年のメール会議から、放射線治療の体制についてエクセル表にまとめさせていただいています。前回2019年7月にご回答いただいた概要を添付させていただきますので、変更点などがありましたら、赤字でご記入いただき、全員に返信でお知らせいただくと幸いです。(万一、ファイルを開けない場合には、前回、2019年7月以降について、治療機器の導入、稼働、治療の開始、スタッフの異動、その他の大きな変化についてメール本文でお知らせいただければと存じます。)

なお、大きな変更等があった施設におかれましては、エクセル表の他にメール文でも、全員に返信でお知らせいただければ幸いです。

担当者が交代された施設におきましてはお手数ですが、転送をお願いいたします。また、個人情報、その他の理由で、全員に返信が不可の場合には、事務局担当、奈良医大の長谷川のみにご返信下さい。(現在の分科会委員は以下のとおりです。)

<分科会委員>

敬称略

奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科	長谷川正俊
奈良県総合医療センター 放射線科	堀川典子
天理よろづ相談所病院 放射線治療科	高山賢二
近畿大学奈良病院 放射線科	岡嶋 馨
済生会中和病院 放射線科	浅川勇雄 (非常勤)
高井病院 放射線科、脳神経外科	井上和也、長友 康
高田市立病院 放射線治療科	横川正樹
市立奈良病院 放射線科	橋本泰年

その他にも、何かご意見等ありましたら、ぜひお知らせ下さい。  
今後ともよろしくご意見申し上げます。

\*\*\*\*\*

奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科：

外部照射では、特に大きな変化はありませんが、前年度に比して令和元年度は治療患者数が増加しています。

小線源治療では、高線量率小線源治療（Ir：HDR）は 2018 年から画像誘導小線源治療（IGBT）に変更し（子宮頸癌腔内照射、前立腺癌組織内照射等）、さらに 2019 年 11 月からはハイブリッド照射（子宮頸癌）も開始しています。

なお、スタッフでは、2018 年 10 月以降、助教 1 名空席が続いています（どなたかいかかでしょうか）。2020 年 2 月現在、常勤放射線治療医は 7 名（専従医師 5 名、放射線治療専門医 5 名）です。リニアック 3 台（IMRT 比率約 50%）、ヨードシード（前立腺）、Ir192HDR（マイクロセレクトロン：子宮、前立腺）、核医学治療（RI 内用療法：I-131 ヨー化ナトリウム、Ra-223 塩化ラジウム、Y-90 抗 CD20 抗体）等の実施状況には特に変化ありませんが、外照射の患者数にはかなりの変動（増減）があり、働き方改革における矛盾が最大の課題です。

\*\*\*\*\*

奈良県立医科大学附属病院 放射線治療科  
長谷川正俊

奈良県がん診療連携協議会 放射線療法分科会

2020/2/26現在 集計結果

病院名	奈良県立医科大学附属病院	奈良県総合医療センター	天理よろづ相談所病院	近畿大学奈良病院	市立奈良病院	高田市立病院	済生会中和病院	高井病院
診療科名	放射線治療科	放射線科	放射線治療科	放射線科	放射線科	放射線治療科	放射線科	放射線科 脳神経外科 井上和也 長友 康
部門責任者または 連絡担当の分科会委員	長谷川正俊	堀川典子	高山賢二	岡嶋 馨	橋本泰年	横川正樹	浅川勇雄(非)	
がん拠点病院	都道府県がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	奈良県がん診療連携支援病院	奈良県がん診療連携支援病院	
リニアック(台数)	3	2	2	1	1	1	1	1
ガンマナイフ(台数)	0	0	0	0	0	0	0	1
陽子線治療装置(台数)	0	0	0	0	0	0	0	1
高線量率小線源治療装置(Ir等)(台)	1	0	1	0	0	0	0	0
前立腺癌ヨード永久刺入装置(台数)	1	0	0	0	0	0	0	0
他(台数)	1	0	0	0	0	0	0	0
常勤放射線治療医数(総数)	8→7	1	3	5→4	1	2	0	4
常勤放射線治療専門医数	5	1	2	1	1	2	0	3
専従放射線治療医数(治療8割以上)	6→5	1	1	4	1	2	0	3
専任放射線治療医数(治療5割以上8割未満)	1	0	0	0	0	0	0	0
兼任放射線治療医数(5割未満)	1	0	0	0	0	0	0	1
非常勤放射線治療医師数	2→1	1	0	1	1	0	2	2
常勤医学物理士数(治療関連総数)	7	0	1	2→1	0	3	0	5
専従(物理8割以上)	1	0	0	1	0	1	0	1
専任(物理5割以上8割未満)	0	0	0	0	0	0	0	0
兼任(物理5割未満)	0	0	0	0	0	0	0	0
技師として勤務	6	0	1	1	0	2	0	4
放射線治療担当技師数(計)	13	6	7	6	5	6	3	8
放射線治療担当技師数(実働数)	8	6	5.5	3	3	3	2	7
専従(治療8割以上)	5	5	4	1	2	2	1	6
専任(治療5割以上8割未満)	7	0	0	2	0	1	0	0
兼任(5割未満)	1	1	3	3	3	3	2	2
放射線治療品質管理士数	2	2	1	2	2	4	0	2
放射線治療担当看護師(実働数)	6	2	1	3	3	2	2	2
他スタッフ等数	クラーク1 事務6	医療事務2名	臨床事務:2					
強度変調放射線治療の実施(○または ×)	○	×	○	○	×	○	×	○
実施要件充足(○または ×)	○	×	○	○	×	○	×	○
固定多門IMRT(○または ×)	○	×	○	○	×	○	×	○
VMAT (○または ×)	○	×	○	○	×	○	×	○
脳 (○または ×)	○	×	○	○	×	○	×	○
頭頸部 (○または ×)	○	×	○	○	×	○	×	○
前立腺 (○または ×)	○	×	○	○	×	○	×	○
食道 (○または ×)	○	×	○	×	×	○	×	○
肺 (○または ×)	○	×	○	×	×	○	×	○
膵 (○または ×)	○	×	×	○	×	○	×	○
直腸 (○または ×)	○	×	○	○	×	○	×	○
骨 (○または ×)	○	×	○	×	×	○	×	×
その他 (○または ×)	○	×	○	○	×	○	×	×
定位放射線照射の実施(○または ×)	○	○	○	○	×	○	×	○
脳 (○または ×)	○	×	○	○	×	○	×	○
肺 (○または ×)	○	×	○	○	×	○	×	○
肝 (○または ×)	○	×	×	○	×	×	×	○
その他 (○または ×)	○	×	×	○		×	×	×
全身照射 (○または ×)	○	×	○	○	×	×	×	×
術中照射 (○または ×)	○(症例なし)	×	×	○	×	×	×	×
その他の特殊治療(外部照射)		×		×	×	×	×	
メタストロン(骨転移)		×	△	○	○	×	×	○
ゾーフィゴ(骨転移のある前立腺癌)	○	×	△	○	○	×	×	○
ゼパリン(リンパ腫)	○	×	△	○	×	×	×	×
ヨード(甲状腺癌)	○	×	△	○		×	×	×
他の内用療法					×	×	×	
コメント	高線量率小線源治療(Ir:HDR)は2018年からIGBTに変更(子宮頸癌組織内照射、前立腺癌組織内照射等)。2019年11月からはハイブリッド照射(子宮頸癌)も開始。	医療事務は以前より常動していただいていた。			I-131によるアブレクションを開始しました。	2019年9月に呼吸器内科医師2名が退職し、現在肺がんの診療が困難な状態です。		2018年9月から陽子線治療を開始し、およそ一年半を要しました。8割以上は保険適応の前立腺癌です。

<p>分科会開催日</p>	<p>第1回 令和元年9月30日(月) 令和2年2月14日(金)(第1回を踏まえた調査)</p>
<p>令和元年度 実績</p>	<p>&lt;実績&gt; ○情報共有用紙の活用状況について ・地域連携クリティカルパスの活用実績を踏まえて検討された新たな情報共有用紙の運用状況の確認  ○がん地域連携に伴う病診連携の推進について ・病診連携の成果指標としてパス件数を活用しているが、新たな指標の検討必要性の意見を受け調査を実施  ※調査結果の概要は次ページ参照</p>
<p>来年度の予定</p>	<p>&lt;来年度予定&gt; ○地域連携クリティカルパス(5大がん、10種類)、情報共有用紙の活用状況の評価・分析  ○がん地域連携に伴う病診連携の推進に関し、新たな成果指標に関する検討  ○地域連携分科会のあり方に関する検討(病診及び病病連携について、その他)  ○令和2年度第1回地域連携分科会開催時期 令和2年7月頃予定</p>

## パス実績・指標案について【調査結果概要】

### ●「情報共有用紙」の活用について

#### 〔主な意見〕

- ・診療情報提供書と看護サマリー、さらに情報共有用紙を記入するのが時間的に難しい。また、電子カルテ媒体にどのように関連付けるのか、どのような症例に適用するのかなど検討が必要。
- ・紙運用は更新される情報への対応及びリアルタイムの情報共有が困難。地域（現実的医療圏）における地域 ICT の構築、利活用が望ましい。
- ・新たなパスや用紙を導入し、運用することは、相当量の事務作業が必要になるため、困難と考える。

### ●県内統一パス、情報共有用紙以外に各医療機関で独自で実施している情報提供ツールがあれば教えてください。

#### 〔主な意見〕

- ・ICT を用いた診療情報の共有  
(ID-Link を用いたあをによし医療ネット)

### ●病診連携の取り組み成果を図る新たな指標案について

#### 〔主な意見〕

- ・退院時共同指導料2のがん患者の件数
- ・ICT を用いた情報共有ツールでがん患者の病診連携を行った件数
- ・同一患者の紹介、逆紹介件数（病院、診療所の機能分担別治療）
- ・がん患者の紹介状のうち、今後の診療に役立つ十分な情報を含む件数
- ・他医療機関へ定期的にデータ、画像等の情報提供を行っている患者数

<p>分科会開催日</p>	<p>令和2年2月25日（火）メール会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多地点 web カンファレンス開催実績報告</li> <li>・化学療法医療チーム研修会開催報告</li> <li>・がんゲノム医療連携病院指定状況について</li> </ul>
<p>令和元年度 実績</p>	<p><u>1. 多地点 web カンファレンスの実施</u> 各医療機関における実際の症例を基に、症例検討を行った。内容によっては関係診療科の医師が参加し、内容の充実化を図った。（計5回・次ページ参照）</p> <p><u>2. 化学療法医療チーム研修会の開催</u> 『がん化学療法医療チーム研修会』 テーマ：自施設の問題点の抽出・計画立案 日 時：令和元年 11 月 3 日（土） 場 所：橿原市役所分庁舎ミグランス 参加者：4施設 15 名（医師・薬剤師・看護師・MSW）</p>
<p>来年度の予定</p>	<p><u>1. 定期的に多地点 web カンファレンスを開催</u> 関係部門の医師、薬剤師、看護師など多職種の参加を促し、さらなる内容の充実化を図る。</p> <p><u>2. 化学療法医療チーム研修会の開催</u> 研修会のアンケート結果を参考に内容を検討し、県内のレベルアップを目標に、フォローアップ研修会を含めたチーム研修会を開催予定。</p>
<p>その他</p>	<p>分科会の委員を中心に行っている自主研究グループ「奈良がん医療研究会（まほろば塾）」を年2回、継続して開催する予定である。</p>

化学療法分科会実績

令和元年度 多地点 web カンファレンス

第1回	5月16日(木)	「オキサリプラチンによる Grade4 アナフィラキシーの 経験」 【南奈良総合医療センター】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良医大附属病院</li> <li>・近大奈良病院</li> <li>・天理よろづ相談所病院</li> <li>・南奈良総合医療センター</li> <li>・国保中央病院</li> <li>・大和高田市立病院</li> </ul>
第2回	7月11日(木)	「ゲノム医療の実際 NCC-Oncopanel の一例」 【奈良県立医科大学附属病院】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良医大附属病院</li> <li>・奈良県総合医療センター</li> <li>・近大奈良病院</li> <li>・天理よろづ相談所病院</li> <li>・国保中央病院</li> <li>・済生会中和病院</li> <li>・大和高田市立病院</li> <li>・土庫病院</li> </ul>
第3回	9月12日(木)	「術後に異なる組織型で再発 した症例??」 【奈良県総合医療センター】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良医大附属病院</li> <li>・奈良県総合医療センター</li> <li>・市立奈良病院</li> <li>・近大奈良病院</li> <li>・天理よろづ相談所病院</li> <li>・国保中央病院</li> <li>・済生会中和病院</li> <li>・大和高田市立病院</li> <li>・土庫病院</li> </ul>
第4回	11月28日(木)	「経過中に PD-L1 発現を認め た EGFR 遺伝子変異陽性肺癌 の一例」 【近畿大学奈良病院】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良医大附属病院</li> <li>・近大奈良病院</li> </ul>
第5回	2月6日(木)	「オシメルチニブ奏功中に T790M 陰性の胸膜病変の増 悪により両下肢麻痺を来した 1例」 【天理よろづ相談所病院】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良医大附属病院</li> <li>・近大奈良病院</li> <li>・天理よろづ相談所病院</li> <li>・国保中央病院</li> </ul>

令和元年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

緩和ケア分科会

分科会開催日	第1回 令和元年5月13日(月) 第2回 令和2年3月5日(木) 予定																																													
令和元年度 実績	<p>① まほろば PEACE 緩和ケア研修会 計9回                  (県内拠点病院、地域がん診療病院、支援病院で開催)</p> <table border="1" data-bbox="584 600 1362 1240"> <thead> <tr> <th rowspan="2">開催医療機関</th> <th rowspan="2">開催日</th> <th colspan="2">受講者数</th> </tr> <tr> <th>医師 歯科医師</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">奈良県立医科大学附属病院</td> <td>6月30日</td> <td>43</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2月2日</td> <td>20</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>市立奈良病院</td> <td>7月21日</td> <td>25</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>近畿大学奈良病院</td> <td>8月4日</td> <td>25</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>済生会中和病院</td> <td>8月25日</td> <td>16</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>天理よろづ相談所病院</td> <td>9月1日</td> <td>21</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>南奈良総合医療センター</td> <td>9月29日</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>奈良県総合医療センター</td> <td>10月6日</td> <td>20</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>国保中央病院</td> <td>12月1日</td> <td>11</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計</td> <td>189</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 看護師に対する研修会 (ELNEC-J) の開催                  ・奈良県立医科大学附属病院                  開催日：1月25日(土)、26日(日)                  参加者：県内でがん診療に携わる看護師 30名</p> <p>③ がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会(病診連携)の開催</p> <p>④ 緩和ケア普及啓発(県民公開講座等)の実施</p> <p>⑤ 緩和ケアチーム研修会の開催</p> <p>※③～⑤の取組は次ページ参照。</p>	開催医療機関	開催日	受講者数		医師 歯科医師	その他	奈良県立医科大学附属病院	6月30日	43	0	2月2日	20	2	市立奈良病院	7月21日	25	8	近畿大学奈良病院	8月4日	25	4	済生会中和病院	8月25日	16	0	天理よろづ相談所病院	9月1日	21	0	南奈良総合医療センター	9月29日	8	12	奈良県総合医療センター	10月6日	20	2	国保中央病院	12月1日	11	0	合計		189	28
開催医療機関	開催日			受講者数																																										
		医師 歯科医師	その他																																											
奈良県立医科大学附属病院	6月30日	43	0																																											
	2月2日	20	2																																											
市立奈良病院	7月21日	25	8																																											
近畿大学奈良病院	8月4日	25	4																																											
済生会中和病院	8月25日	16	0																																											
天理よろづ相談所病院	9月1日	21	0																																											
南奈良総合医療センター	9月29日	8	12																																											
奈良県総合医療センター	10月6日	20	2																																											
国保中央病院	12月1日	11	0																																											
合計		189	28																																											
来年度の予定	<p>①まほろば PEACE 緩和ケア研修会の開催</p> <p>②引き続き、緩和ケアに関する研修会や普及啓発活動の実施</p>																																													

## 令和元年度 奈良県がん診療連携協議会（緩和ケア分科会） 取組報告

### ◆在宅緩和ケア地域連携事業「がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会」【原則必須】

医療機関名	内容
奈良医大	R1.12.1（日）「在宅緩和ケア地域連携研修会（ケアカフェちゅうわ）」 在宅療養支援診療所の医師や看護師等に対し、「せん妄か!?せん妄以外か!?!」をテーマに、緩和ケアに関する知識と技術の研修を行った。（参加者：20名）
奈総医セ	地域の医療従事者や福祉職らと共にがん患者の意志決定や地域連携の問題を検討する症例検討会を開催（R1.7.11、R1.9.12、R1.11.7は症例検討会を実施済み、R2.3.5はミニ講義+グループワークの予定）
天理よろづ	R2.1.17（金）「在宅緩和ケア地域連携研修会」を開催（参加者：173名） 在宅緩和ケアを専門とする医師による緩和ケア及び病診連携に関する研修会を、地域の医療従事者及び院内職員を対象に開催した。
近大奈良	二次医療圏の医療従事者を対象とした緩和ケアに関する研修会「生駒緩和医療研究会」を3回開催した。 ①R1.8.1（木）「こどもの緩和ケアを実践する際に大切にしたいこと」開催 参加者：60名 ②R1.11.14（木）「認知機能障害をもつがん患者の緩和ケア」開催 参加者：51名 ③R2.2.6（木）「がんと栄養」「せほねの健康とがんロコモ」開催 参加者：37名
市立奈良	当院緩和ケアチームと地域の在宅緩和ケアを専門とする医師、訪問看護ステーション等医療従事者を対象とした「緩和ケア合同カンファレンス」をR2.2.13に実施（参加者：59名）
南奈良	R1.6.13（木）「第10回南和地域在宅医療研修会（テーマ：地域で取り組む緩和ケア）」 地域の医師、看護師等を対象に開催済（参加者：98名）

### ◆緩和ケアの情報提供・普及啓発（県民公開講座等） 【必須要件】

指針Ⅱ4（3）③/Ⅶ4（3）③：地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めること。

医療機関名	事業内容
奈良医大	R2.3.1（日）県民公開講座「病気とうまくつきあっていくために」（会場：奈良県産業会館） 一般の方を対象に、緩和ケアの普及啓発のための公開講座を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止とした。
奈総医セ	R2.2.15（土）県民公開講座「がん治療の進歩」 一般の方を対象とした、治療期からの緩和ケア、がん治療方法等の講演を行い、がんに対する普及啓発及び情報提供を行う予定であったが、新型コロナウイルス肺炎感染防止のため、延期となった（日程調整中）。
天理よろづ	R1.6.20「乳がんの治療（緩和ケアを含む）～患者さんにできること～」 一般市民対象に公開講座を開催（参加者：49名）
近大奈良	一般市民を対象に市民公開講座を開催した。 令和元年11月16日（土）「がんゲノム医療ってなんだ?!」「近大奈良病院のがん医療～がんの診断から緩和ケアまで～」（参加者：100名）
市立奈良	R1.11.2（土）10：00～11：30 がん診療拠点病院公開講座「がん患者・ご家族が安心して生活できるためのお金の話」 講師：辻本由香、会場：市立奈良病院で開催。（参加者：17名）
南奈良	R1.7.5（金）一般向け公開講座 テーマ「癌の予防・早期発見・治療について」 R1.9.4（水）一般向け公開講座 テーマ「もっと知っておきたい『がん』－最新の話－」 R1.12.18（水）地域の高等学校の生徒に向けた講座 テーマ「がん診療のはなし」

### ◆当該都道府県においてがん診療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等に対する研修の実施について（必須要件）【奈良医大のみ】

医療機関名	事業内容
奈良医大	R1.9.22（日）「奈良県緩和ケアチーム研修会」 「緩和ケアチームが取り組むアドバンス・ケア・プランニング」をテーマに、県内の緩和ケアチームに対する研修会を開催。（参加者：7施設23名）

令和元年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会報告

相談支援分科会

<p>分科会 開催日</p>	<p>令和元年 6月6日(木) ※奈良県疾病対策課主催「患者サロン運営者会議」と同時開催 令和元年 9月5日(木) 令和元年 12月5日(木)</p>
<p>令和元 年度 実績</p>	<p><u>1. 治療と仕事両立支援体制の整備と充実</u>          ①社会保険労務士による就労相談の実施              ・5 医療機関で計 22 回実施、27 名利用          ②産業保険総合支援センター（両立支援促進員）との連携による支援              ・連携協定を 3 医療機関で締結          ③長期療養者就職支援事業（がん・肝炎・糖尿病の長期療養者）ハローワーク出張相談              ・奈良医大にて 36 回実施し、利用者 40 名（近大奈良患者利用 1 名有り）              ・県総合医療センターにて、2 月と 3 月にプレ相談会実施          ④療養・就労両立支援指導料の算定に伴う体制の整備              両立支援ナビゲーターの配置や必要書類の検討              ・利用者無し   ・ナビゲーター研修は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p><u>2. 相談の質の保証のための相談員のスキルアップ</u>          ①地域がん相談支援フォーラム近畿 2019 年 10 月 6 日（日）「高齢がん患者の支援」              ・奈良県参加者 12 名              ・事前に県内の高齢がん患者の相談状況について調査を実施          ②奈良県がん相談員研修会の開催 2020 年 2 月 29 日（土）              ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止          ③奈良県がんピアサポーター養成研修参加              ・相談員 3 名が講師および支援者として参加</p> <p><u>3. 患者サロン運用充実・患者会や患者団体の活動の支援</u>          ①リレーフォーライフ奈良への参加 9 月 28 日（土）・29 日（日）              ・相談員 4 名が参加          ②患者団体が開催する交流会、講演会への参加              ・保健所サロン 5 件（講演と交流会参加）              ・患者会実施の講演会講師 交流会 4 件          ③患者サロンの運用充実              ・広報案内などで参加を誘導</p>

	<p><u>4. AYA 世代・小児がん患者・家族支援体制の整備</u></p> <p>①サロン・交流会の実施〔各医療機関で実施〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年 10 月 16 日（土）「AYA のなごみ Cafe」（奈良医大 参加者 3 名）</li> <li>・3 月 5 日講演会「AYA 世代のがん患者への相談支援について」 →新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止</li> </ul> <p><u>5. 相談支援センターの院内職員への周知と相談機能の強化</u></p> <p>①院内職員から相談支援センターに紹介される体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入退院支援センターや看護部との連携を進めた</li> </ul> <p>②患者からの相談に対し、適切に対応できるような、院内の関連部門・担当者と協働できる体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関連部門とカンファレンスを実施し情報共有を行った</li> <li>・ポスターの作成と掲示</li> </ul>
<p>来年度 の予定</p>	<p><u>1. 治療と仕事両立支援の継続</u></p> <p>①社会保険労務士の就労相談の継続実施〔各医療機関で実施〕</p> <p>②ハローワーク・産業保険総合支援センターとの連携</p> <p>③療養・就労両立支援指導料改定に伴う相談体制の見直しと整備</p> <p><u>2. 県内のがん相談員のスキルアップ</u></p> <p>①奈良県がん相談員研修会の開催予定 テーマ：「相談対応の質保証を学ぶ」 講 師：国立がん研究センターがん対策情報センターより派遣 ※令和元年度新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止、令和 2 年度に開催を検討。</p> <p>②国立がん研究センターの相談員指導者研修に参加（1 グループ 3 名）</p> <p>③がんの新たな治療 「例がんゲノム医療」等について勉強会</p> <p><u>3. 患者サロン運用充実・患者会や患者団体の活動の支援の継続</u></p> <p>①患者団体が開催する交流会、講演会への参加</p> <p>②患者サロンの運用充実</p> <p><u>4. AYA 世代・小児がん患者・家族支援体制の整備</u></p> <p>①サロン・交流会の実施〔各医療機関で実施〕</p> <p><u>5. 相談支援センターの院内職員への周知と相談機能の強化</u></p> <p>①院内職員から相談支援センターに紹介される体制の整備</p> <p>②患者からの相談に対し、適切に対応できるよう、院内の関連部門及び担当者と協働できる体制の整備等</p>

<p>分科会開催日</p>	<p><u>院内がん登録分科会</u>                  メールにて開催（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会報告</li> <li>・がん登録研修会開催報告・情報提供等</li> </ul>
<p>令和元年度 実績</p>	<p><u>がん登録データの集計および分析</u>                  各拠点病院のがん登録 2016 年データの収集・分析                  （奈良医大）                  →国立がん研究センターから県にデータ提供がなかったため、                  対応検討中。</p> <p><u>院内がん登録分科会 がん登録研修会（年2回）</u></p> <p>【第1回】                  日時：令和元年 10 月 27 日（日）13：30～17：00                  共催：奈良県がん対策推進協議会 がん登録部会                  場所：奈良県立医科大学 基礎医学棟第2講義室                  受講対象者：県内のがん登録担当者、診療所医師等                  参加者：42 名</p> <p>第1部：『全国がん登録情報の効果的な活用について』                  講 師：国立がん研究センター                  がん対策情報センター・がん登録センター                  全国がん登録室長 松田 智大 氏</p> <p>第2部：『乳がんについて』                  講 師：奈良県立医科大学附属病院                  乳腺センター                  准教授 平尾 具子 氏</p>

	<p>【第2回】  日時：令和2年3月7日（土）13：00～17：00  場所：奈良県立医科大学 臨床研修センター  受講対象者：県内のがん登録担当者等</p> <p>第1部：『標準登録様式について』  第2部：演習問題・質疑応答  講師：国立がん研究センターがん対策情報センター  がん情報・統計部 院内がん登録室  江森 佳子 氏</p>
<p>来年度の予定</p>	<p><u>令和2年度活動予定</u></p> <p>①令和2年度 奈良県がん診療連携協議会  院内がん登録分科会 がん登録研修会（年1～2回）  （1回は奈良県がん対策推進協議会がん登録部会と共催予定）</p> <p>②奈良県がん診療連携協議会 院内がん登録分科会（年1回）</p>